



# 子ども会 あんぜんシート



2021年7月 福岡市子ども会安全部

## 1 熱中症の防止について

- 梅雨入り後、蒸し暑い日がつづき、熱中症による救急搬送が増えています。  
熱中症のなりやすさである暑さ指数も、厳重警戒とされる28℃以上の日が連続しています。
- 夏は野外活動の機会も多く、また新型コロナウイルス感染症対策でマスクをしている等、熱中症を発症しやすい条件下にあります。参加者の安全確保のため、猛暑への適応を意識して行っていく必要があります。

### 〔子ども会行事における適応〕

- ・ 激しい運動を伴う活動は避ける。
- ・ 日陰におけるこまめな休憩や水分補給をプログラムに組み込み、行事の中で一斉に実施する。
- ・ 行事の時期を初夏や秋に変更する。時間も一日から午前中のみなどに短縮する。

- また、屋外で人と2メートル以上離れている場合は、マスクを外すことが推奨されています。
- 夏のイベントに関する留意点は、国からガイドラインが示されています。  
イラストなどを使い、具体的に書いてありますので、ぜひお読みください。

「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン 2020（環境省）」

[https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness\\_gline.php](https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_gline.php)

## 2 夏季の行事における注意点について ～ 毛虫に注意しましょう ～

- 昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、あまり子ども会活動ができなかったことで、共済金を支払った事故は29件となり、一昨年度の1割程度に急減しました。
- その中でも、特徴的な事例として、清掃活動中の毛虫による虫刺されが、複数発生しています。毛虫は梅雨から夏にかけて大量発生すると言われており、直接刺されなくても、飛散する毛に触れるだけで炎症が起きる「チャドクガ」などの害虫も存在します。
- 野外活動の際は、長袖、長ズボンを着用するとともに、事前に害虫の有無なども確認して、参加者に注意を促しましょう。
- 刺された時は、搔かずに流水で洗い、すぐに受診しましょう。

